





For Canon
TTL Wireless Flash Trigger



補足取扱説明書(カスタムファンクション追加事項)

※本説明書が、最新のファームウェアアップ後の情報となります。

X 操作方法の選択

カスタム機能 NO.	機能	設定表示	設定および内容	摘要
C.Fn-00	シンクロディレイ	00	OFF	✓
		1~100	マスターシンクロディレイN*100us (アイコン )	
C.Fn-01	シングル コンタクトモード	--	OFF	✓
		on	ON (アイコン ) トランスミッターをPCコードまたはカメラのシングルコンタクトを通してフラッシュをトリガーするときはこのモード設定を推奨	
C.Fn-02	ズームセッティング	--	Zoom値の変更禁止	✓
		AU	カメラのZoom値とともに変更	
		20,24,28,35,50,70,80,105,135,135+	ズーム (20/24/28/35/50/70/80/105/135/200mm)	
C.Fn-03	PCシンクロソケット 入力/出力として	in	PCシンクロコードをカメラに接続する場合	✓
		ou	PCシンクロコードを場合ストロボに接続する場合	
C.Fn-04	後幕シンクロ (※注記参照)	--	後幕シンクロOFF	✓
		on	後幕シンクロON	
C.Fn-05	M/Multiモード設定時 における最少出力値	1/128	1/128	✓
		1/256	1/256	
C.Fn-06	表示グループ	03	3グループ表示	✓
		05	5グループ表示	
C.Fn-07	Beepサウンド ON/OFF	--	レシーバーのbeepサウンドをOFFにする	✓
		on	レシーバーのbeepサウンドをONにする	
C.Fn-08	設定値の強制送信 ON / OFF	--	設定値変更後、設定を送信	✓
		on	フラッシュトリガー前に設定値を強制的に送信 ただし、設定値の変更は不可	
C.Fn-09	アプリモード	--	トランスミッターはマスターモードでレシーバーのモードおよびトランスミッターの出力を設定することができます。	✓
		on	APPモードを開くとトランスミッターはフラッシュのトリガーのみをおこないます。チャンネルおよびカスタム設定のみ調整できLCD表示はAPPとなります。	
CHボタンをダブルクリックしてレシーバー側のモデリングランプのON/OFFをおこないます。				✓
TESTボタンを押し、フラッシュトリガーを始動させます。状態表示のランプが2回点滅すると遠隔操作距離は30メートル以内を意味します。そこでトランスミッターとレシーバー間で近距離の位置に関係なく通常の交信が開始されます。				✓

※注記：後幕シンクロはカメラの外部フラッシュ機能設定ではおこなえません。後幕シンクロを使用しているとき、有効なシャッタースピードの範囲は1/30~30秒です。シャッタースピードをバルブ、または1/30秒より速く設定しても無効です。始動後にHSSの設定とシャッタースピードの範囲を1/30秒~30秒の間に設定しても後幕シンクロは問題無く機能します。



For Nikon



TTL Wireless Flash Trigger



補足取扱説明書(カスタムファンクション追加事項)

※本説明書が、最新のファームウェアアップ後の情報となります。

X 操作方法の選択

カスタム機能 NO.	機能	設定表示	設定および内容	摘要
C.Fn-00	シンクロディレイ	0	OFF	✓
		1~100	マスターシンクロニゼーションディレイ N*100us (アイコン )	
C.Fn-01	シングル コンタクトモード	0	OFF	✓
		1	ON(アイコン )トランスミッターをPCコードまたはカメラのシングルコンタクトを通してフラッシュをトリガーするときはこのモード設定を推奨	
C.Fn-02	ズーム セッティング	AU	カメラのズーム値とともに変更 フラッシュのオートZOOM機能をONにする	✓
		20,24,28,35,50,70, 80,105,135,135+	ズーム (20/24/28/35/50/70/80/105/135/200mm)	
C.Fn-03	PCシンクロソケット 入力/出力として	In	PCシンクロソケットがカメラの入力として接続	✓
		ou	PCシンクロソケットがカメラの出力として接続	
C.Fn-04	マルチフラッシュ ON/OFF	0	マルチフラッシュOFF	✓
		1	マルチフラッシュON	
C.Fn-05	M/Multiモード設定時における最少出力値	1/128	1/128	✓
		1/128-	1/256	
C.Fn-06	AFアシスト	--	OFF	✓
		on	ON	
C.Fn-07	表示グループ	03	3グループ表示	✓
		05	5グループ表示	
C.Fn-08	BeepサウンドON/OFF	--	レシーバーのbeepサウンドをOFFにする	✓
		on	レシーバーのbeepサウンドをONにする	
C.Fn-09	強制的に設定値を送信 ON/OFF	--	設定値変更後その値を送信	✓
		on	設定値の変更が無い場合でもシャッターをトリガーする前に設定値を強制的に送信	
C.Fn-10	アプリモード	--	トランスミッターはマスターモードでレシーバーのモードおよびトランスミッターの出力を設定することができます。	✓
		on	APPモードを開くとトランスミッターはフラッシュのトリガーのみをおこないます。チャンネルおよびカスタム設定のみ調整できLCD表示はAPPとなります。	
CHボタンをダブルクリックしてレシーバー側のモデリングランプのON/OFFをおこないます。				✓
TESTボタンを押し、フラッシュトリガーを始動させます。状態表示のランプが2回点滅すると遠隔操作距離は30メートル以内を意味します。そこでトランスミッターとレシーバー間で近距離の位置に関係なく通常の交信が開始されます。				✓